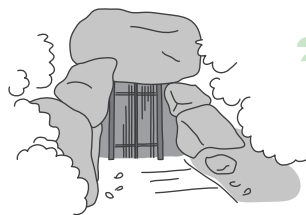


古墳



ぼくや 牧野古墳 史跡

丘陵奥部にある直径約50mの大型円墳。墳丘は三段築成で造られ、二段目には全長17.1mの大型横穴式石室が開口しています。玄室内には奥壁に沿って横向きに家形石棺が安置され、その手前にも家形石棺が置かれていました。副葬品として金環、玉類、馬具二組分、銀装の大刀、400本近い鉄製のやじり、58点の須恵器が出土しました。6世紀末葉の古墳で、押坂彦人大兄皇子(舒明天皇の父)の成相墓と考えられています。



巢山古墳 特別史跡

馬見丘陵の中央部に位置する大型前方後円墳。墳丘長220m、左右のくびれ部に造り出しを設け、周囲には水を湛えた周濠と外堤が巡ります。埋葬施設は後円部に縦穴式石室が2基あり、前方部にも小石室があります。出土品は、玉類、円筒埴輪、形象埴輪など多数あり、周濠からは『古事記』に記された「喪船」(遺骸を載せる船)も出土。5世紀初めの古墳です。

出土した喪船
(レプリカ)です



巢山古墳出土品

三吉石塚古墳 県指定史跡

新木山古墳の西に築かれた東向きの帆立貝形古墳。墳丘長45mで、周囲に馬蹄形の周濠と外堤が巡ります。墳丘は二段築成で、二段目には円筒、朝顔形、蓋形、短甲形、家形埴輪が立てられており、5世紀後半の築造と考えられています。古墳を盛土で保護した上に築造当初の姿を復元する工法で整備。円筒埴輪、朝顔形埴輪も磁器製の複製品を設置しています。



しんやま 新山古墳 陵墓参考地

馬見丘陵の南東端に築かれた前方後方墳。墳丘長126mで、築造は4世紀後半、馬見古墳群の中でも最も古い大型古墳とされています。後円部の縦穴式石室から銅鏡34面(三角縁神獣鏡、直弧文鏡など)や玉類、鉄形石、車輪石、石釧、金銅製帯金具、台座形石製品などが出土。大塚陵墓参考地として宮内庁の管理下にあります。

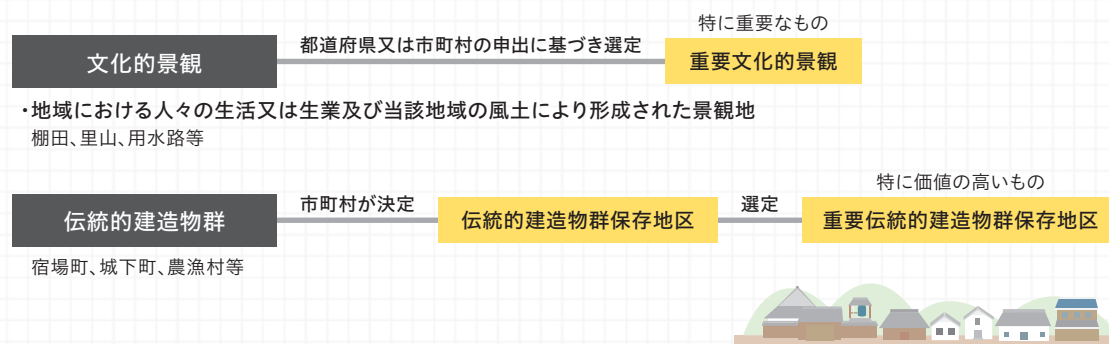


にきやま 新木山古墳 陵墓参考地

前方部を東に向ける前方後円墳。墳丘長200m、前方部幅118m、後円部径120mで、周濠と外堤が巡り、両側のくびれ部に造り出しがあります。馬見古墳群中央群では巢山古墳と並ぶ大型古墳です。築造は5世紀前半と考えられています。三吉陵墓参考地として、副葬品の勾玉、管玉、棗玉は宮内庁に保管されています。

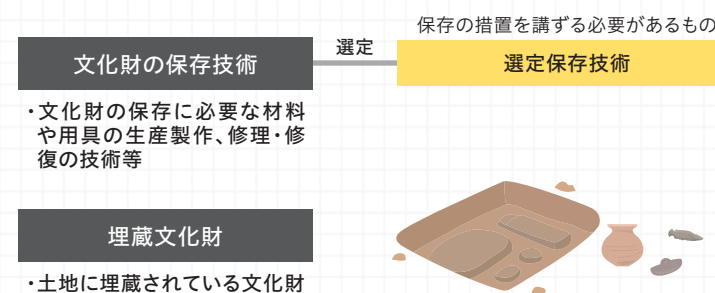


教養の豆知識 文化財の体系図 文化的景観と伝統的建造物群



文化庁HP「文化財の体系図」(https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/shokai/gaiyo/taikeizu_l.html)の内容を引用・編集・加工して作成

教養の豆知識 文化財の体系図 文化財の保存技術と埋蔵文化財



文化庁HP「文化財の体系図」(https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/shokai/gaiyo/taikeizu_l.html)の内容を引用・編集・加工して作成